

# BUSINESS REPORT 2008

2008年10月期 報告書 2007.11.1 >>> 2008.10.31



株式会社トップカルチャー

証券コード：7640



## 文化は感動 文明は効率

株主の皆様には平素より格別のご支援ならびにご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

日本経済は100年に一度あるかないかの大きな変化に直面し危機的な状態に陥っております。しかし、このような時にこそ改めて当社の社会的使命の重要性を強く感じております。当社が取扱う映画や音楽、書籍そして文具などの身近なエンターテインメントは人々の心を癒し、豊かにし、明日への活力を与えるものであり、今まさに必要とされているものだと考えております。

2009年10月期はエリアマネージャー制度を導入し店舗運営力を強化するとともに、今まで以上に地域に密着した店舗作りを推し進めてまいります。そして一人でも多くのお客様に蔦屋書店をご利用いただき快適な環境の中で新たな発見や喜び、感動を味わっていただけるよう取り組んでまいります。

当社は創業以来、一貫して「日常的エンターテインメント」の提供をミッションとしています。これにより地域社会に貢献できる企業であり続けたいと考えております。

皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社トップカルチャー  
代表取締役社長

**清水秀雄**

# TOP INTERVIEW



## Q 当期の業績についてお聞かせください。

当期の売上高は、295億38百万円となり、前年同期比104.9%、既存店ベースで前年同期比100.4%となりました。同業他社が苦戦を強いられる中で前年をクリアできたという意味で評価できるものと考えます。

経常利益は6億8百万円、当期純利益は3億45百万円と当期は減益となりました。計画を下回ったのは、アメリカの脚本家組合のストライキが長期化したことによりヒット作が不足し、主にDVDレンタルにおける海外TVドラマの売上が減少したことおよびそれを補うべき施策として、当社の強みであるファミリー層向けに邦画とアニメの品揃えを戦略的に拡大した仕入れを実施したことによります。しかしこの施策の効果は今後成果となって表れると考えています。

個人消費の低迷が続く小売業界は厳しい状況にあります。一方で休日には家で過ごすというスタイルが増え、低価格で楽しめる娯楽への需要が高まり身近にエンターテインメントを楽しめる当社店舗に対する利用頻度が高まっています。

### 2008年10月期の業績

売上高	295億38百万円 (前年同期比 4.9%増)
営業利益	5億50百万円 (前年同期比46.8%減)
経常利益	6億8百万円 (前年同期比45.8%減)
当期純利益	3億45百万円 (前年同期比43.4%減)

## TOP INTERVIEW

# 新しい発見と感動を。私たちは「こだわ

### Q 新規の出店および増床の状況はいかがでしたか？

新規の出店は、上期の青葉奈良店（神奈川県）に続いて下期の伊勢崎宮子店（群馬県）、厚木下依知店（神奈川県）、稲城若葉台店（東京都）と4店舗に及びました。

このほか、TSUTAYAグループの既存店舗をM&A（企業買収）する形でTSUTAYA座間店（神奈川県）を傘下に加えしました。既存の会員2万人をそのまま引き継いで営業しています。これにより当社グループの店舗数は67店舗に達しました。

また、増床などに伴うリニューアルは、新津店（新潟県）、新通店（新潟県）で行いました。新津店は420坪を800坪に、新通店は350坪を450坪にそれぞれ増床し、品揃えの強化と居心地のよい空間を意識してさらに提案性の高い売場を実現させました。



### Q 当期の主な取り組みについてもお聞かせください。

当期は、「レンタルシニア会員割引」をスタートさせ、「お孫さんと一緒に蔦屋書店で遊ぶ」というライフスタイルを提案しました。中・高年層のお客様がより充実したエンターテインメントライフを過ごせるような環境とともに、お孫さんを含めた家族の新しい絆が強められたらと願っています。

もう一つは「ミックス売場」の提唱です。書籍、文具、CD・DVD販売、レンタルなどからなる複合店作りは、創業以来のスタイルですが、さらに部門を超えて旅行、温泉、料理、ファッション、園芸、芸術などのこだわりのテーマや時代を読み取るきっかけとなる様々な考え方を感ずることができ「新しい発見と感動を体験できる売場」を目指して、一店舗一店舗の地域特性に合わせた提案力をスタッフとともに磨いていこうと考えています。挑戦のないところには、次の成功は生まれないという信念でさらに進みます。

「BOOK & CAFE」をテーマにコーヒーを片手にゆったりと読書できる贅沢な時間がお過ごしいただける店舗を増やしました。ファミリー層やシニア層が安心して快適に過ごせ、また家族や友人、地域の「コミュニティの場」としてご利用いただいています。



# り」のあるライフスタイルを提案します。

## Q 『中期成長ビジョン』の進捗と併せて、 その後の対応についてもお聞かせください。

当社はグループ100店舗体制に向けた途上にあります。これまでは絞り込んだ地域で、点から面への拡大に全力を上げてきました。新潟・長野から首都圏近郊に店舗網が広がり、順調に店舗ネットワークを拡大してまいりました。これまで以上に「良い立地」と「良いマーケット」にこだわって新規出店を実施していきたいと考えています。

店舗運営面では「創業20周年大感謝祭」の際に実施したお客様アンケートの結果を店舗作りに生かすため、ストアオペレーションの強化を図ることにしました。2008年11月から導入した4名の超大型店の店長経験者からなるエリアマネージャー制度は、経営者の視点で各店舗の指導を行うというものです。店長を成長させ、個店別の課題に対応し売上と利益の最大化を図るのが狙いです。

この成果は間違いなく出てくると確信しています。

## Q 株主の皆様にメッセージをお願いします。

地域文化の発展のために尽くしたいとの思いから創業し、「日常的エンターテインメント」をコンセプトに様々なライフスタイルに密着した大型複合店舗を展開してまいりました。当社はお陰さまで創業から20年を経過しましたが、これからも謙虚な気持ちで株主様のご支援にお応えしていきたいと考えています。なお、当期末から1株当たりの配当金額を10円から15円に増配しました。厳しい経営環境ですが、今の利益水準を維持し、引き続き皆様のご期待にお応えしてまいります。





## 創業20周年記念大感謝祭・講演会を実施!

4月中旬より7月中旬までの約3ヶ月間、日頃のご愛顧に感謝して「創業20周年大感謝祭」を実施いたしました。お買い得商品の充実のほか、レンタル券が必ず貰えるスタンプラリーやご利用店舗のお客様アンケートを実施いたしました。また、1万名様に総額2,000万円相当の賞品が当たるキャンペーンでは約5万人のお客様からご応募いただきました。今後もたくさんのお客様に喜んでいただける企画を立ててまいります。お客様アンケートにていただきました「生の声」は全店舗で共有し、店舗作りを生かしてまいります。

また、五木寛之さん(9月21日長岡市)と和田裕美さん(9月29日新潟市)の講演会を開催いたしました。五木さんの講演では「人間の関係」をテーマに鬱の時代を生き抜く術を、そして和田さんのセミナーでは「陽転思考」をキーワードに仕事成功する秘訣をお話いただきました。どちらの会場も超満員となり、好評を博しました。



## 出店4店、既存店の大幅増床2店を実施。 出店のうち2店は「BOOK&CAFEスタイル」となりました!

2008年10月期は新規出店を4店、既存店の大幅増床を2店実施いたしました。新規出店のうち、伊勢崎宮子店(群馬県)と厚木下依知店(神奈川県)は当社がくつろげる店舗作りの一つとして推進している「BOOK&CAFEスタイル」の出店となりました。また、子供たちが良い本や音楽、映画に触れることで感性を磨き、将来の夢や希望を育む環境作りとして「キッズコーナー」の拡大にも積極的に取り組んでおります。居心地の良い店舗作りにより自然と人々が集まる場所となり、お店で過ごすひとときがお客様にとって新しい価値となるためにエンターテイメント空間と時間の提供を行う蔦屋書店は進化を続けれます。



## TSUTAYA座間店を(株)TSUTAYAのFC加盟企業様より取得。

(株)TSUTAYAのFC加盟企業様よりTSUTAYA座間店を9月1日付で店舗譲受いたしました。同店はレンタルおよび販売用CD・DVDを取扱う店舗面積111坪の小型店であります。今後は当社独自のスタイルである書籍や文具等も取扱う大型複合店舗として移転増床を予定しております。今後もグループ100店舗体制の早期実現に向けて店舗譲受も視野に入れ、出店拡大を進めてまいります。

## ライフスタイル提案カタログ 「T-CULTURE」はますます充実! 読者も参加できる企画が好評!

前期より取り組みをスタートしたライフスタイル提案カタログ「T-CULTURE」は8号を数えました。オリジナル企画「私の人生を変えた映画・音楽・本」では各界著名人に加え、2008年春号よりお客様や当社スタッフからの寄稿もスタートし、各界、お客様、地域、店舗スタッフといった蔦屋書店に関わる人すべてが参加し、一体化できる「全員参加型の企画」としてさらに取り組みを強化しております。「T-CULTURE」は店頭で配布をしているほか、当社ホームページでもご覧いただけます。ご寄稿についてはホームページより受付しておりますので皆様の人生を変えた作品をぜひご紹介ください。



## レンタルシニア会員割引をスタート!

2008年10月期より新たな取り組みとして満60歳以上のお客様を対象としたレンタルのシニア会員割引をスタートいたしました。これは、おじいちゃんやおばあちゃんがシニアであることをきっかけとして、お孫さんと一緒に蔦屋書店へ出かけるというライフスタイルを提案するものであります。

蔦屋書店がコミュニケーションツールの一つとなり、家族がふれあう時間を増やすお手伝いできればと考えています。満60歳以上の会員は前期に比べて3万人増加しております。



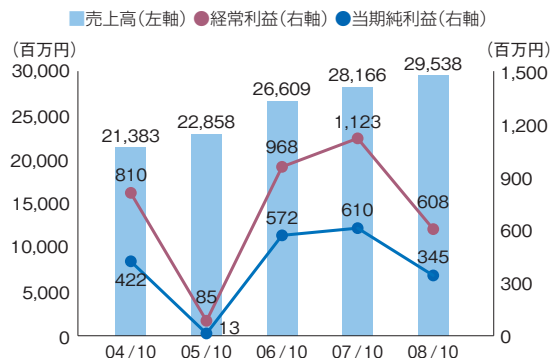
## (株)グランセナフットボールクラブを 100%子会社化いたしました。

4月1日に連結子会社(株)グランセナフットボールクラブの全株式を取得し、100%子会社化いたしました。同社はサッカーを基本から一貫した指導、育成する場を提供しております。また、様々なスクールプログラムを企画し、地域社会のコミュニティ空間として子供や女性、ご年配の方々まで幅広い年齢層の方にスポーツをライフスタイルの一つとして楽しむ機会の拡大を図っていくことをミッションとしております。蔦屋書店もグランセナも目指す方向は一緒。地域社会のコミュニティ空間として社会貢献できるよう、統一した事業戦略のもと運営を進めてまいります。

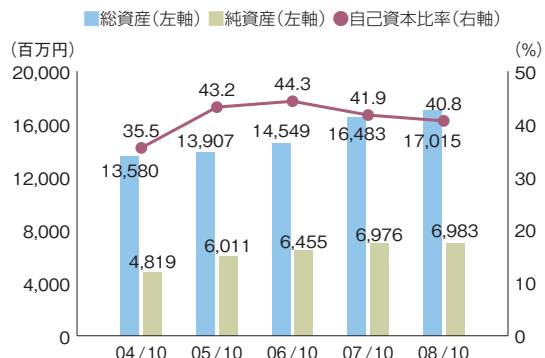


- 既存店は売上高前年同期比 100.4%と堅調に推移
- 書籍・販売用CDの好調が増収に寄与
- レンタル仕入の戦略的拡大等により減益

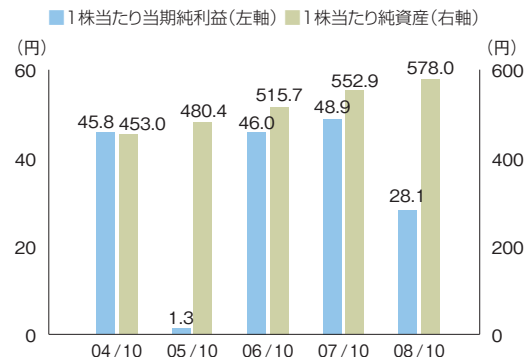
売上高／経常利益／当期純利益



総資産／純資産／自己資本比率

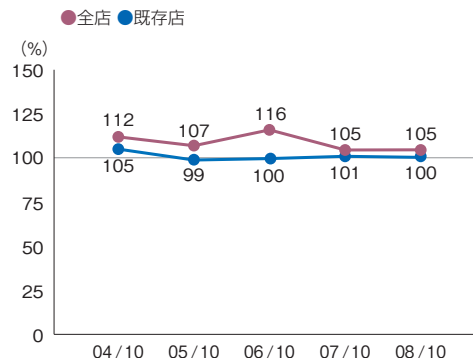


1株当たり当期純利益／1株当たり純資産



(注)2004年8月20日付で株式1株を2株とする株式分割を行っております。

鳶屋書店部門 全店売上高対前年比／既存店売上高対前年比





連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2007年10月期	2008年10月期	比較増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	8,784	9,222	438
固定資産	7,698	7,792	93
有形固定資産	2,996	3,083	86
無形固定資産	56	90	33
投資その他の資産	4,645	4,619	△26
資産合計	16,483	17,015	532
<b>負債の部</b>			
流動負債	5,152	5,416	264
固定負債	4,354	4,615	260
負債合計	9,506	10,031	524
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,896	6,929	33
資本金	2,007	2,007	—
資本剰余金	2,303	2,303	—
利益剰余金	2,707	2,927	219
自己株式	△122	△309	△186
評価・換算差額等	12	4	△8
その他有価証券評価差額金	12	4	△8
新株予約権	12	28	15
少数株主持分	55	21	△33
純資産合計	6,976	6,983	7
負債純資産合計	16,483	17,015	532

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2007年10月期	2008年10月期	比較増減
売上高	28,166	29,538	1,372
売上原価	19,403	20,604	1,201
売上総利益	8,762	8,933	170
販売費及び一般管理費	7,728	8,383	655
営業利益	1,034	550	△484
営業外収益	161	147	△14
営業外費用	73	88	15
経常利益	1,123	608	△514
特別利益	—	—	—
特別損失	14	—	△14
税金等調整前当期純利益	1,109	608	△500
法人税、住民税及び事業税	460	280	△180
法人税等調整額	42	7	△35
少数株主損失	4	24	20
当期純利益	610	345	△264

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

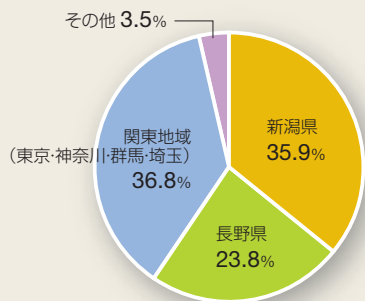
科目	2007年10月期	2008年10月期	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	421	182	△238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,537	△200	1,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,312	205	△1,107
現金及び現金同等物の増加額	195	187	△8
現金及び現金同等物の期首残高	803	1,034	230
新規連結に伴う現金同等物の増加	35	—	△35
現金及び現金同等物の期末残高	1,034	1,221	187

連結株主資本等変動計算書

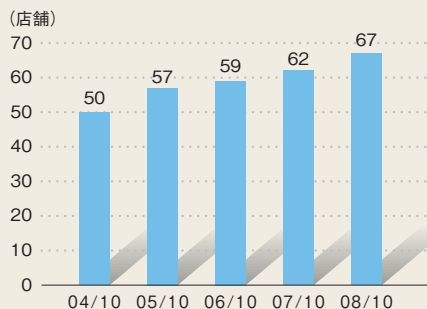
(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
2007年10月31日残高	2,007	2,303	2,707	△122	6,896	12	12	12	55	6,976
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△124	—	△124	—	—	—	—	△124
当期純利益	—	—	345	—	345	—	—	—	—	345
自己株式の取得	—	—	—	△187	△187	—	—	—	—	△187
自己株式の処分	—	—	△0	1	0	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△8	△8	15	△33	△25
連結会計年度中の変動額合計	—	—	219	△186	33	△8	△8	15	△33	7
2008年10月31日残高	2,007	2,303	2,927	△309	6,929	4	4	28	21	6,983

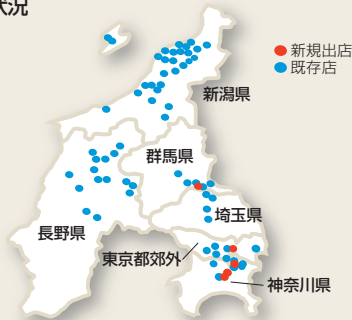
● 地域別売上高構成比



● 店舗数推移



● 出店状況



店舗一覧

(2009年1月28日現在)

株式会社トップカルチャー 63店舗

● 蔦屋書店 / TSUTAYA

- |                 |      |  |
|-----------------|------|--|
| 新潟県             | 新潟市  | 女池インター店 / 小針店 /<br>ベルパルレ寺尾店 / 新通店 /<br>南万代フォーラム店 / 南笹口店 /<br>竹尾インター店 / マーケットシティ白根店 /<br>豊栄店 / 河渡店 / 横越バイパス店 /<br>新津店 |
|                 | 長岡市  | 長岡川崎店 / 長岡宮内店 / 西長岡店 /<br>北長岡店   |
|                 | 他市町村 | 県央店 / 小千谷店 / 六日町店 / 小出店 /<br>柏崎岩上店 / 上越インター店 /<br>佐渡佐和田店   |
| 長野県             | 長野市  | 長野徳間店 / 長野川中島店 /<br>長野安茂里店   |
|                 | 上田市  | 上田大屋店 / 上田しおだ野店  |
|                 | 他市町村 | 大町店 / 須坂店 / 中野店 / 塩尻店 /<br>豊科店 / 諏訪中洲店 / 佐久小諸店 /<br>佐久野沢店 / 千曲屋代店  |
| 神奈川県            |      | 厚木戸室店 / 厚木下依知店 / 港北ミナモト店 /<br>青葉奈良店 / 横山店 / 鴨居店 / 座間店  |
| 東京都             |      | 多摩永山店 / 府中クレッセ店 / 南大沢店 /<br>八王子みなみ野店 / 八王子榎原店 /<br>サンストリート亀戸店 / 稲城若葉台店   |
| 群馬県             |      | 伊勢崎平和町店 / 伊勢崎安堀店 /<br>伊勢崎茂呂店 / 伊勢崎宮子店 / 太田店 /<br>前橋吉岡店   |
| 埼玉県             |      | 熊谷店 / 滑川店 / 川島インター店 / 深谷店  |
| ● 峰弥書店          |      |  |
| 新潟県             | 新潟市内 | 黒埼店  |
|                 | 他市町村 | 新発田店   |
| 株式会社トップブックス 4店舗 |      |  |
| ● 古本市場トップブックス   |      |  |
| 新潟県             |      | 佐渡佐和田店 / 竹尾インター店 /<br>横越バイパス店  |
| 長野県             |      | 佐久小諸店  |

## 会社の概要

(2008年10月31日現在)

商号	株式会社トップカルチャー
事業内容	書籍・CD・DVD・文具等の販売、CD・DVDのレンタル業務を行う大型複合店舗の運営を通じた「日常的エンターテイメント」の提供 店舗名「蔦屋書店」「TSUTAYA」「峰弥書店」
本社所在地	〒950-2022 新潟市西区小針4丁目9番1号 TEL 025(232)0008
会社設立	1986年12月
株式上場	2000年4月 店頭上場 2001年10月 東証二部上場 2005年4月 東証一部指定
資本金	20億737万円
従業員数	306名(他パート・アルバイト602名)
連結対象子会社	2社 株式会社トップブックス (店舗名「古本市場トップブックス」) 株式会社グランセナフットボールクラブ
役員 (2009年1月28日現在)	代表取締役社長 清水 秀雄 取締役副社長 宮原 務 取締役 伊藤 正義 取締役 板垣 晋治 取締役 遠海 武則 社外取締役 和田 充夫 社外取締役 木村 元昭 常勤社外監査役 佐々木順二 社外監査役 山田 剛志 監査役 相馬 潔

## 株式の状況

(2008年10月31日現在)

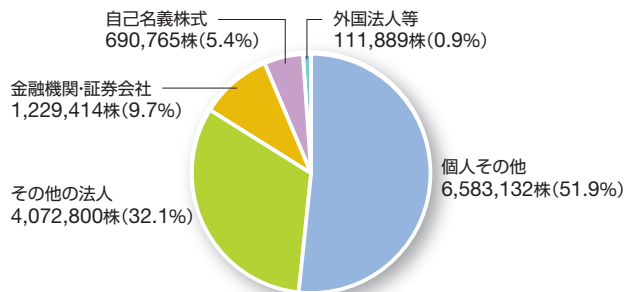
発行可能株式総数	33,472,000株
発行済株式の総数	12,688,000株
単元株式数	100株
株主数	10,098名

## 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	2,030,000	16.9
有限会社ヒーズ	1,760,000	14.7
清水秀雄	1,654,500	13.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	631,600	5.3
清水大輔	294,000	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	201,600	1.7
株式会社北越銀行	164,000	1.4
トップカルチャー従業員持株会	140,200	1.2
株式会社本間組	102,000	0.9
清水絢子	74,000	0.6

(注) 当社は自己株式690,765株を保有しております。

## 株式の分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで  
定時株主総会 毎年1月  
基準日 定時株主総会 毎年10月31日  
期末配当金 毎年10月31日  
(中間配当金を支払う場合) (毎年4月30日)  
株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社  
〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号  
同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL 0120-78-2031(フリーダイヤル)  
同事務取扱次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店  
上場取引所 東京証券取引所(証券コード7640)  
単元株式数 100株  
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.topculture.co.jp/kessan.html>

## ■株主優待・決算公告HP■

### 株主優待

毎年10月31日現在で300株以上ご所有の株主様に対して、レンタル優待券または図書カードを下記の基準により贈呈させていただきます。レンタル優待券は、トップカルチャーが経営するレンタル取扱いの全店舗(2009年1月28日現在61店舗)でご利用いただけます。なお、株主様には別途ご利用店舗一覧をご案内させていただきますので、ご確認の上、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

	レンタル優待券の場合	図書カードの場合
300株以上 1,000株未満	2,000円相当を一律に進呈	1,000円相当を一律に進呈
1,000株以上	4,000円相当を一律に進呈	2,000円相当を一律に進呈



### ホームページ

当社ホームページでは、投資家の皆様への情報提供を行うIRページを設けております。最新の会社の動きや業績報告などを掲載し、今後も一層の充実を図ってまいります。ぜひご利用ください。

<http://www.topculture.co.jp>



## 株式会社トップカルチャー TOP CULTURE Co., Ltd

〒950-2022 新潟市西区小針4丁目9番1号  
電話 025(232)0008  
<http://www.topculture.co.jp>  
[top-cul@po.next.ne.jp](mailto:top-cul@po.next.ne.jp)

記載は2009年1月28日現在のものであり、今後変更される可能性があります。  
詳しくは当社HPをご覧ください。